

# 可視化日報とSFA/NIコラボ/経営CompasScopeとの連携について

可視化日報と SFA 製品及び NI コラボ、経営 CompasScope 製品をご導入の場合、データの共有など連携機能をご利用になることができます。

ここでは、連携による機能追加及び変更点についてご説明いたします。利用するユーザーによっては画面周りが変更となりますので、必ず本マニュアルをお読みください。

## ■ 連携対象製品

- ・顧客創造日報(含む Type-R)
- ・顧客深耕日報(含む案件創造統合および Type-R)
- ・顧客の声
- ・NI コラボ
- ・経営 CompasScope

## ■ 文中で扱う用語説明

S F A : 顧客創造日報および顧客深耕日報の総称

## <目次>

<b>S F A 製品との連携</b> .....	<b>2</b>
1. 可視化日報とSFA日報について.....	2
2. 顧客情報.....	4
3. 日報ポータル.....	6
4. 案件情報とプロジェクト情報の連携について.....	7
5. 商談工数データ取込機能.....	10
6. 顧客の声について.....	15
<b>NI コラボとの連携</b> .....	<b>16</b>
ポータルパーツの追加.....	16
スケジュール連携.....	17
NIコラボプロジェクトデータ移行機能が追加.....	18
<b>経営 CompasScope との連携</b> .....	<b>19</b>
テンプレートの追加.....	19
<b>経営 CompasScope との連携</b> .....	<b>19</b>
テンプレートの追加.....	19
<b>システム設定</b> .....	<b>20</b>
顧客情報データベースの共有.....	20
顧客の声データベースの共有.....	21
商談目的と業務分類の関連付け設定.....	22
商談工数取込権限設定.....	23
NI コラボプロジェクト情報取込権限設定.....	23
<b>補足</b> .....	<b>24</b>
取得ライセンスによる画面の見え方の違い.....	24

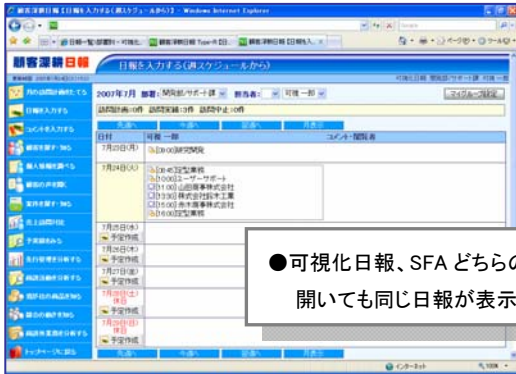
# SFA製品との連携

## 1. 可視化日報とSFA日報について

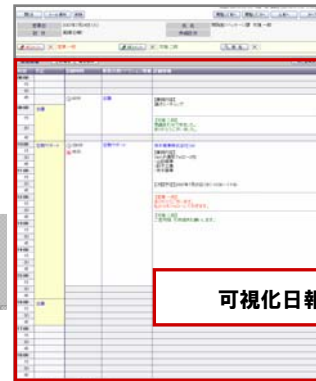
①日報は、可視化日報とSFA日報は共通です。

可視化日報とSFA 両ライセンスを持つユーザーは、1枚の日報に可視化日報情報と、SFA 商談情報が同時に表示されます。

【SFA】



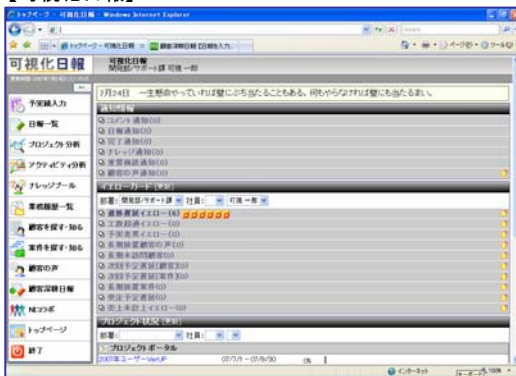
【日報登録画面】



●可視化日報、SFA どちらのメニューから開いても同じ日報が表示されます。

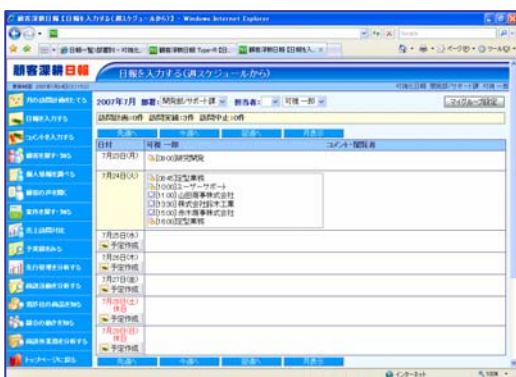
可視化日報の業務情報

【可視化日報】



SFAの商談情報

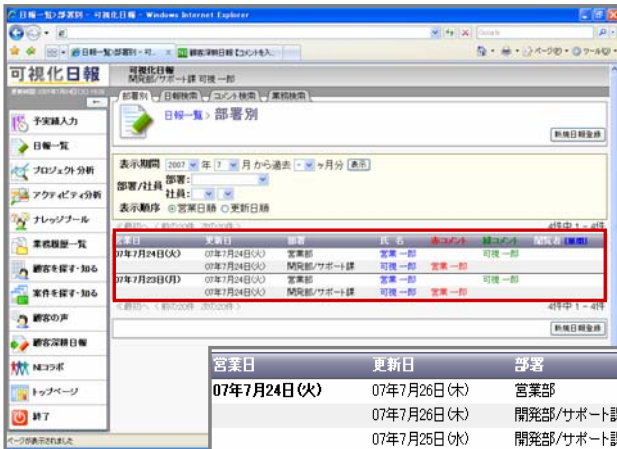
SFAのみライセンスをもつユーザーは、SFA フォームが開きます。



②日報を閲覧する場合、可視化日報で登録した日報と SFA で登録した日報が一画面で表示されます。

⇒SFA のみライセンスユーザーが可視化日報ライセンスユーザーの日報を閲覧、コメントを入力することができます。

【可視化日報】



【SFA】

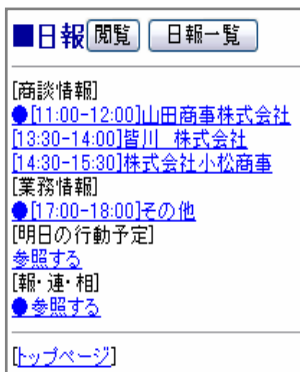


営業日	更新日	部署	氏名	赤コメント	緑コメント	閲覧者
07年7月24日(火)	07年7月26日(木)	営業部	営業 一郎		可視 一郎	
	07年7月26日(木)	開発部/サポート課	可視 一郎	営業 一郎		
	07年7月26日(火)	開発部/サポート課	可視 三郎			
07年7月23日(月)	07年7月26日(木)	営業部	営業 一郎		可視 一郎	
	07年7月24日(火)	開発部/サポート課	可視 一郎	営業 一郎		

- 可視化日報で登録した日報(可視一郎)と、SFAで登録した日報(営業一郎)が一画面で表示されます。
- 日報一覧の表示内容は、両画面とも同じデータが表示されます。

③携帯版の「コメント入力」の際、「業務情報」、「商談情報」のどちらも閲覧することが可能です。

前項②と同様に、携帯版においても両情報を閲覧&コメント入力することができます。



- 「前へ」「次へ」は、各情報ごとに閲覧することができます。

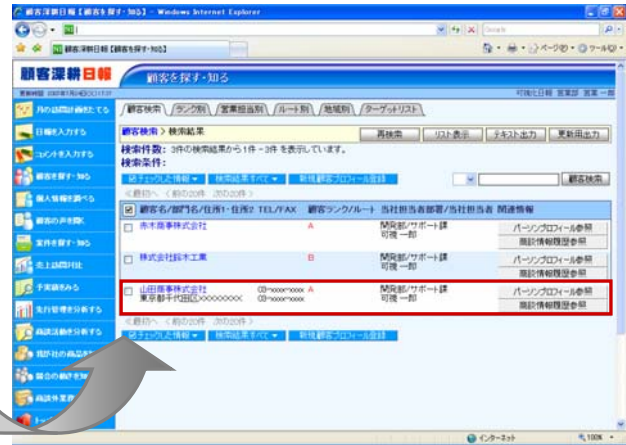
## 2. 顧客情報

①SFA 連携時、可視化日報の顧客情報データは、SFA の顧客情報データは共有データとなります。

【可視化日報単体利用時の顧客検索結果】



【SFA連携利用時の顧客検索結果】



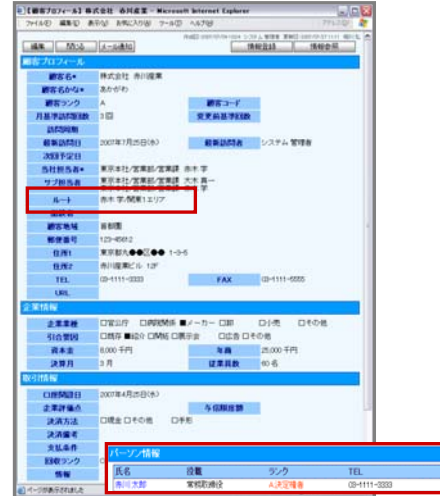
②ライセンスによる顧客プロフィール情報の表示内容の違い

可視化日報ライセンスのみユーザーは、「**パーソン情報**」、「**ルート**」項目がありません。その他は SFA の顧客プロフィールと同等の機能を持っています。

【可視化日報単体利用時の顧客プロフィール】



【SFA連携利用時の顧客プロフィール】



**Point**

可視化日報と SFA を導入の場合。

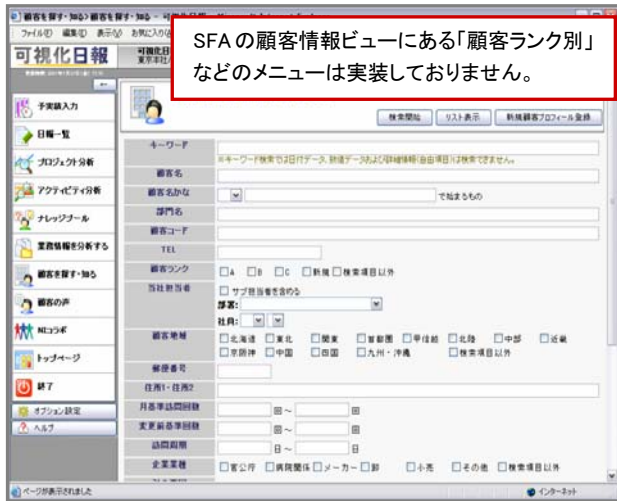
- ◆ 可視化日報ライセンスのみユーザー：可視化日報「顧客プロフィール」フォームで開きます。
- ◆ 可視化/SFA 両ライセンスユーザー：SFA「顧客プロフィール」フォームで開きます。
- ◆ SFA ライセンスのみユーザー：SFA「顧客プロフィール」フォームで開きます。

**!** ●商談情報に登録されたパーソン情報は、参照のみ可能です。(可視化のみユーザー)

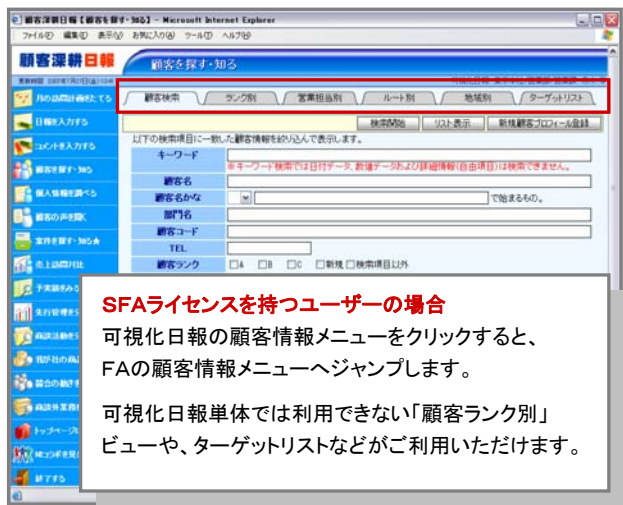
### ③ライセンスによる顧客プロフィール検索画面の表示内容の違い

可視化日報ライセンスのみユーザーは、可視化日報専用の「顧客検索」画面を表示します。

【可視化日報ライセンスのみユーザーの顧客検索画面】



【両ライセンス、又は SFA ライセンスユーザーの顧客検索画面】



### ④SFA の商談情報と可視化日報の業務情報は、顧客情報履歴として一覧表示できます。

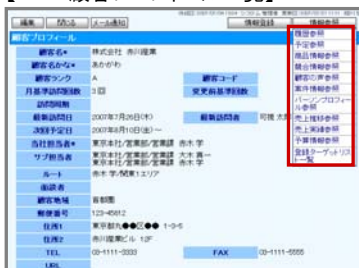
※各情報登録時に、顧客名を登録している場合のみ

【可視化日報 顧客プロフィール一覧】

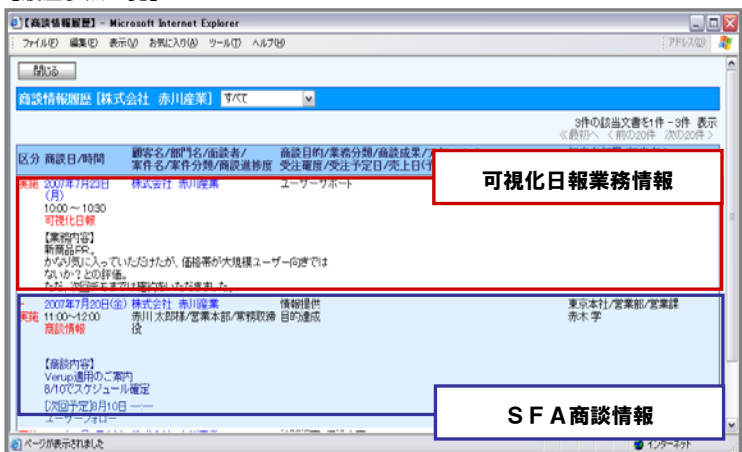


- 履歴参照
- 予定参照
- 商品情報参照
- 競合情報参照
- 顧客の声参照
- 案件情報参照
- バージョンプロフィール参照
- 売上推移参照
- 売上実績参照
- 予算情報参照
- 登録ターゲットリスト一覧
- プロジェクト情報参照

【SFA 顧客プロフィール一覧】



【履歴参照一覧】



#### < 確認方法 >

1. 可視化日報または SFA の画面左メニューより「顧客を探す・知る」を選択し、「顧客検索」画面を表示させます。
2. 参照したい顧客情報の条件を絞り込み、「検索開始」ボタンを押します。
3. 検索結果から、参照したい顧客情報の「顧客名」を選択して詳細画面を表示させます。
4. 画面右上の「情報参照」ボタンをクリックし、「履歴参照」を選択します。  
⇒その顧客の「商談情報履歴」画面が表示されます。
5. 上の図の通り、可視化日報の「業務情報」と SFA の「商談情報」の履歴が一覧で参照することができます。



### 3. 日報ポータル

SFA 連携時、**可視化日報と SFA の両ライセンスユーザー**では、トップ画面に表示される情報(通知情報やエラーカードなど)を両機能合わせて表示します。(両方の画面にて表示が可能です。)

**可視化日報と SFA の通知情報**

- メール通知 (0)
- 日報通知 (0)
- 完了通知 (0)
- アラート通知 (0)
- 重要商談通知 (0)
- 顧客の声通知 (0)
- エラーカード (更新)

**可視化日報エラーカード & SFA エラーカード**

部署: [ ] 社員: [ ]

- 運搬遅延エラー (12)
- 工数超過エラー (0)
- 予定変更エラー (0)
- 長期放置顧客の声 (0)
- 長期未訪問顧客 (0)
- 次回予定遅延 (案件)(0)
- 次回予定遅延 (案件)(0)
- 長期放置案件 (0)
- 受注予定遅延 (0)
- 売上未計上エラー (0)
- プロジェクト状況 (更新)

**可視化日報 プロジェクト/タスク/アクション**

部署: [ ] 社員: [ ]

プロジェクトポータル

- 2009年ユーザーヘルプ
- 山田商事ERPウェブ物販
- 山田商事ERPウェブ1販売

タスクポータル

タスク	期間	完了
設計	07/11 - 07/13	0%
製造	07/11 - 07/13	0%
西日本エリアユーザー	07/11 - 07/13	0%
東日本エリアユーザー	07/11 - 07/13	0%

アクションポータル

タスク	期間	完了
操作マニュアル作成	07/11 - 07/13	0%
PG設計	07/11 - 07/13	0%
鈴木工業	07/11 - 07/13	0%
鈴木商事	07/11 - 07/13	0%

**SFA 案件 PICKUP と売上速報**

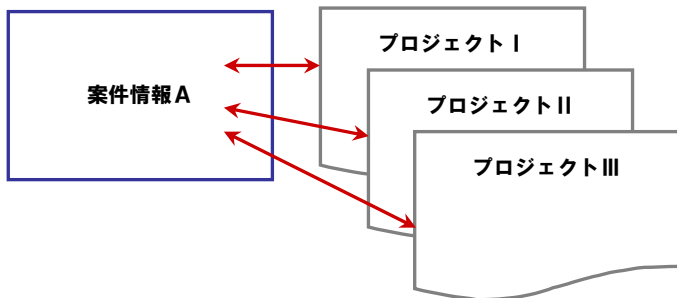
部署: [ ] 社員: [ ]

- 最新案件情報 (1) 合計 5,000
- 最新受注案件情報 (1) 合計 5,000
- 最新先注案件情報 (0)
- 最新確認受注案件 [確認UP] (0)
- 最新確認受注案件 [確認DOWN] (0)
- 受注予定変更案件 [予定継続] (0)
- 受注予定変更案件 [予定継続] (0)

#### 4. 案件情報とプロジェクト情報の連携について

※この機能は、顧客創造日報 for WEB (Type-R 含む)、顧客深耕日報案件創造統合 (Type-R 含む)を導入している場合のみの機能となります。

SFA 案件情報とプロジェクト情報を紐付けることができ、案件に対してどのプロジェクトが作られているのかを把握することができます。また、関連づけされた案件情報を登録した商談工数を取込むと(次項をご参照ください。)、プロジェクトの工数に含めることができます。案件情報1つに対して複数のプロジェクト情報の紐付けが可能で、1つのプロジェクト情報に対して複数の案件情報の紐付けはできません。



【案件情報からのプロジェクト情報作成／関連づけ】

This screenshot shows the '案件情報' (Case Information) screen in the ERP system. A 'プロジェクト情報選択' (Project Information Selection) dialog box is open, allowing users to search for and link projects to the current case. The dialog includes fields for 'プロジェクト名' (Project Name), '部署' (Department), and 'リーダー' (Leader). Below the search fields, a list of projects is displayed with '関連付け' (Link) and 'コピーして作成' (Copy and Create) buttons. The selected project is 'エース株式会社ERPフェーズ2物流管理' (Ace Corp ERP Phase 2 Logistics Management).

【関連づけ設定したプロジェクト情報】

This screenshot shows the 'プロジェクト情報' (Project Information) screen. The project details are displayed, including 'プロジェクト名' (Project Name), 'プロジェクト分類' (Project Classification), and '顧客名' (Customer Name). The '案件名' (Case Name) is highlighted in red, indicating the linked case: 'エース株式会社 ERP導入' (Ace Corp ERP Introduction).

【関連づけ設定した案件情報】

This screenshot shows the '案件情報' (Case Information) screen. The case details are displayed, including '案件名' (Case Name), '案件分類' (Case Classification), and '発生日' (Occurrence Date). The 'プロジェクト情報一覧' (Project Information List) is highlighted in red, showing the linked project: 'エース株式会社ERPフェーズ2物流管理' (Ace Corp ERP Phase 2 Logistics Management).

【ライセンスによる利用権限の違い】

機能 \ ライセンス	可視化のみ	SFAのみ	可視化+SFA
案件登録・編集	×	●	●
案件情報参照	△ プロジェクト情報 フォームからのみ可能	●	●
プロジェクト登録・編集	●	×	●
プロジェクト情報参照	●	△ 案件情報からのプロ ジェクト一覧参照のみ 可能	●
案件からプロジェクトの紐付け	×	×	●
プロジェクトから案件の紐付け	● 新規案件登録は不可	×	●
案件情報ビュー	×	●	●
プロジェクト情報ビュー	●	×	●



## 可視化日報<プロジェクト情報から案件情報の関連付け>

1. 可視化日報の画面左メニューより「プロジェクトを分析する」を選択し、「プロジェクト情報」画面を表示させます。
2. 関連づけを行うプロジェクト情報の条件を絞り込み、「検索開始」ボタンを押します。
3. 検索結果から、該当の「プロジェクト名」を選択して詳細画面を表示させます。  
※プロジェクト情報の詳細画面の表示方法については、上記は一例です
4. 画面左上の「編集」ボタンをクリックし、編集画面を表示させます。
5. 「案件名」又は「選択」ボタンを押して、「案件情報一覧」画面を表示させます。  
⇒「顧客名」が選択されていない場合は、顧客名を先に設定してください。
6. 一覧より該当の案件名を選択します。  
※案件名を入力して検索することができます。単一指定による入力値を含む案件名が検索条件となります。  
※新規に案件情報を作成する場合は、「新規案件情報登録」ボタンを押して登録を行ってください。
7. 最後に「保存」ボタンを押して、内容を保存してください。

## SFA<案件情報からプロジェクト情報を関連付け>

1. SFA 又は可視化日報の画面左メニューより「案件を探す・知る」を選択し、「案件情報検索」画面を表示させます。
2. 関連づけを行う案件情報の条件を絞り込み、「検索開始」ボタンを押します。
3. 検索結果から、該当の「案件名」を選択して詳細画面を表示させます。  
※案件情報の詳細画面の表示方法については、上記は一例です
4. 画面右上の「情報登録」ボタンを押し、「プロジェクトとの関連付け」表示させます。  
⇒「プロジェクト情報選択」画面が表示されます。
5. 「プロジェクト名」「部署」「リーダー」項目より、検索対象となる条件を入力し、「検索」ボタンを押します。
6. 検索結果より、関連付けを行うプロジェクトの選択し、「関連付け」ボタンを押します。
7. 「選択した情報に対して関連付けしてもよろしいですか?」とのメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押します。

⇒<関連付けしたプロジェクトを確認する方法>

1. 案件情報の詳細画面右上の「情報参照」ボタンを押し、「プロジェクト情報一覧」を選択します。
2. 関連づけされたプロジェクト情報の一覧が表示されます。

※確認は、SFA ライセンスのみユーザーでも確認することができます。



### ●プロジェクト情報からの関連付けについて

SFAライセンスがない可視化日報ライセンスユーザーでも、プロジェクト情報フォームから案件選択が可能です。プロジェクト情報から案件情報を紐付けることができます。

### ●関連付けおよび作成操作について

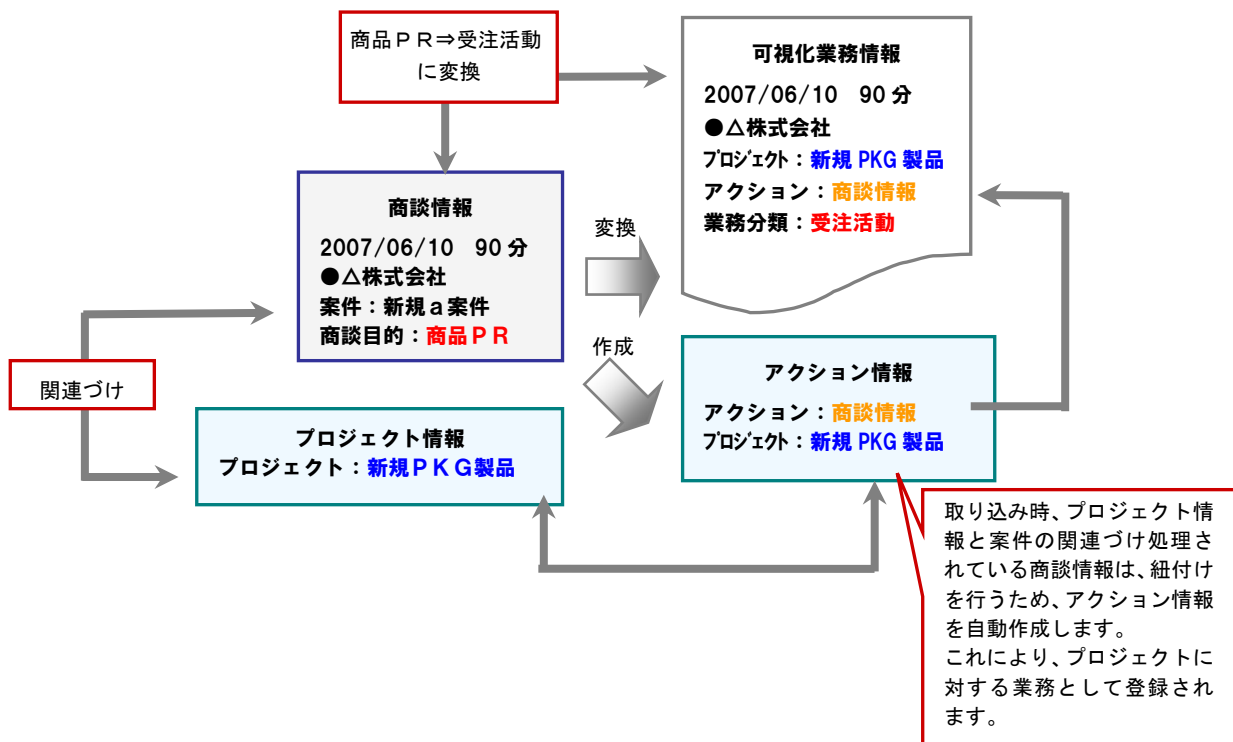
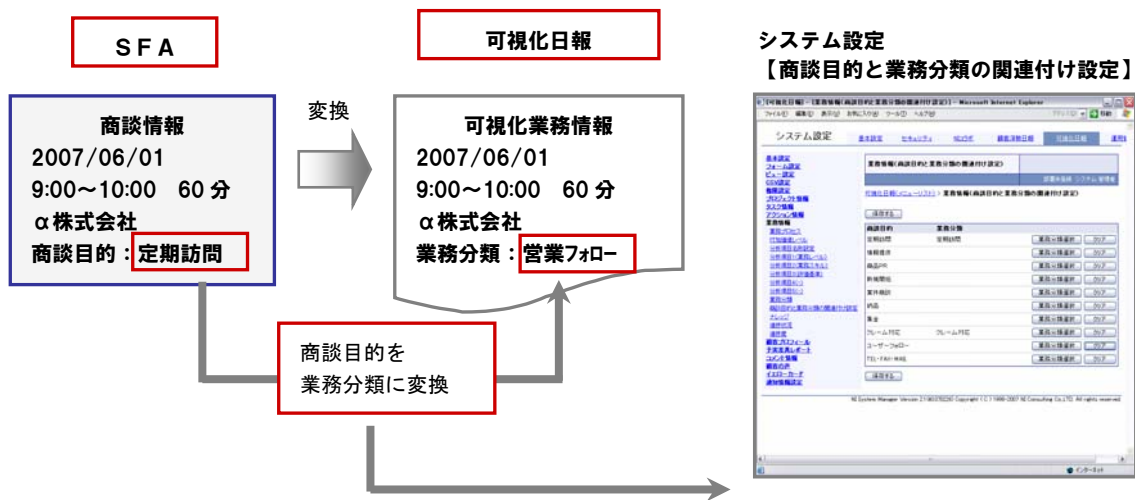
プロジェクト情報の関連付けまたは作成操作は、可視化日報ライセンスが必要ですので、SFAライセンスのみのユーザーは操作できません。

**5. 商談工数データ取込機能**

「商談工数データ取込機能」を使用することができます。

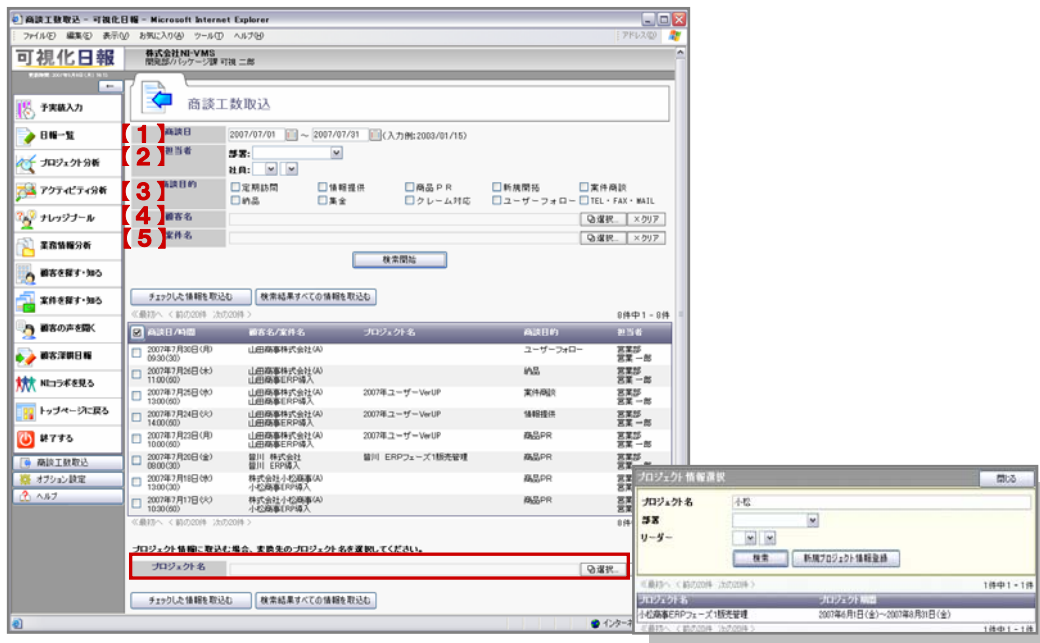
この機能は、SFA で登録した商談情報を業務情報に変換するという機能です。商談情報で登録した「商談目的」と業務情報で登録する「業務分類」に関連づけを行い変換します。

この機能により商談工数(商談時間)を、可視化日報の工数として取り込み、受注前の営業工数を加味した工数管理が可能となります。また、商談情報に登録されている案件情報がプロジェクト状況との「関連付け」設定を行っている場合、変換された業務情報は、プロジェクト情報と紐付けされ、プロジェクトの工数に含まれます。これによりプロジェクトのコスト計算において、営業工数も含めた分析が可能になります。



## 商談工数取込

- 画面左メニュー下の「商談工数取込」を押します。
- 取り込む商談情報の条件を絞り込み、「検索開始」ボタンを押します。商談日は必須です。  
⇒条件に合致する商談情報が表示されます。



図内番号	各部の名称	
<b>【1】</b>	商談日	取込む商談情報の日付を入力します。日付の選択は【必須】です。 入力値(From-To:単一指定可)の範囲指定による検索を行ないます。
<b>【2】</b>	担当者	商談情報に登録されている部署/担当者を選択します。
<b>【3】</b>	商談目的	登録されている商談目的を選択します。複数選択が可能です。
<b>【4】</b>	顧客名	<p>商談情報に登録されている顧客を選択します。 「選択」ボタンを押すと、顧客選択画面が表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>顧客情報に対する担当者をラジオボタンより選択します。</li> <li>「顧客名かな」「顧客名」「顧客コード」の検索条件を入力し、「検索開始」ボタンを押します。 ※単一指定による入力値から始まる、又は入力値を含む顧客が検索条件となります。 ※サブ担当者を検索条件として含めるときは、チェック Box にチェックを入れてください。</li> <li>条件に当てはまる顧客名が表示されますので、該当する顧客名の欄にポインタを移動させ、ピンクの帯が表示されたら顧客名を押してください。</li> </ol> <p><b>【補足】</b> 顧客選択画面にて、検索条件設定前に表示される顧客リストは、過去の選択履歴を表示しています。(最大 20 件)</p>
<b>【5】</b>	案件名	<p><b>※顧客創造日報 for WEB(Type-R 含む)、顧客深耕日報案件創造統合(Type-R 含む)を導入しており且つ、利用権限のある場合のみ表示されます。</b></p> <p>商談情報に登録されている案件情報を選択します。 「選択」ボタンを押すと、案件選択画面が表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>案件情報に対する「状態」をラジオボタンより選択します。</li> <li>「案件名」の検索条件を入力し、「検索開始」ボタンを押します。 ※単一指定による入力値から始まる、又は入力値を含む顧客が検索条件となります。</li> <li>条件に当てはまる顧客名が表示されますので、該当する顧客名の欄にポインタを移動させ、ピンクの帯が表示されたら顧客名を押してください。</li> </ol> <p><b>【補足】</b> 案件選択画面にて、検索条件設定前に表示される案件リストは、過去の選択履歴を表示しています。(最大 20 件)</p>

3. 表示された商談情報の中で、プロジェクトの業務情報として変換したい商談情報は、取込み前にプロジェクトを選択します。  
 ※プロジェクト選択は必須ではありません。

**■プロジェクトの選択方法**

1. 「選択」ボタンを押し、「プロジェクト情報選択」画面を表示させます。
  2. 「プロジェクト名」、「部署」、「リーダー」項目より検索条件を絞り込み「検索」ボタンを押します。
  3. 表示された一覧から対象のプロジェクトを選択します。
4. 商談情報を取込みます。

**■検索結果すべての情報を取込む場合**

1. 「検索結果すべての情報を取込む」ボタンを押します。  
 ⇒「処理が完了しました。成功〇件 失敗〇件」と表示されます。

**■検索結果の一部を取込む場合**


1. 取込む商談情報の「商談日/時間」項目左のチェックボックスにチェックをします。  
 ※項目名箇所「」ボタンを押すと、全ての商談情報にチェックが入ります。
2. 「チェックした情報を取込む」ボタンを押します。  
 ⇒「処理が完了しました。成功〇件 失敗〇件」と表示されます。



- ・商談時間の入力のない商談情報は、取込み対象外となります。  
 ※「開始時間」と「商談時間」 または 「開始時間」と「終了時間」の全ての項目の入力してください。
- ・プロジェクトの業務情報として変換される場合、変換後そのプロジェクトに対するアクション情報が自動作成されます。

## 取込まれた業務情報について

前項において取込まれた業務情報は、以下の条件で取込まれます。

変換内容	商談情報は、業務情報の各項目に変換され取込まれます。		
	SFA 【商談情報】		可視化日報 【業務情報】
	商談日・時間	⇒	業務日・時間
	担当者(営業)	⇒	担当者
	顧客情報	⇒	顧客名
			変換内容その他
			・変換する業務日/時間に既に業務情報が登録されている場合は取込むことができません。 ・変換する業務時間(「開始時間」&「商談時間」又は「開始時間」~「終了時間」)の登録がない場合、取込むことができません。
			商談情報に顧客が選択されていない場合は、業務情報は顧客なしで取込みます。
			案件とプロジェクトと関連づけを行っている場合、対象のプロジェクトを登録します。関連づけがない場合は、通常の業務情報として変換します。
			予め登録された業務分類に一致するものに変換します。対応する業務分類がないものは取込むことができません。
	※1 顧客創造日報 for WEB(Type-R 含む)、顧客深耕日報案件創造統合(Type-R 含む)を導入しており且つ、利用権限のある場合のみ表示されます。		
区分	変換された業務情報は、新規に区分「 <b>実施</b> 」の業務情報として作成されます。 また、検索画面での検索結果一覧上では、「 <b>商談工数</b> 」という名称が表示され、商談情報から取込まれた業務情報であることを確認することができます。		
アクション情報	プロジェクトの業務として案件と関連づけられた商談情報を取込んだ場合、指定したプロジェクトの <b>アクション情報</b> を自動作成し、そのアクション情報の業務として作成されます。 【アクション名】: 商談情報 ※作成箇所: プロジェクト直下のタスク情報なしのアクション情報として作成されます。		
参照・編集・削除	変換された業務情報は、参照のみで <b>編集・削除することができません</b> 。 ⇒編集が必要な場合、SFAの商談情報を変更して、再度取込みを行います。 ※取り込みについては次項をご参照ください。		
商談目的	商談目的を2つ選択されている場合、 <b>左側プルダウン</b> で選択された商談目的に対する業務分類で変換します。⇒訪問件数にカウントする商談目的を選択します。 		
プロジェクト	プロジェクトが「 <b>完了</b> 」又は「 <b>中止</b> 」の場合、取込むことができません。		

## 商談情報の更新取込について

一度取込みを行った商談情報(業務情報)の修正が必要な場合は、修正した商談情報を再度取込む必要があります。  
以下の手順で操作を行ってください。

1. SFAメニューの「商談活動を分析する」を選択し、「商談検索」画面を表示させます。
2. 修正を行う商談情報の条件を絞り込み、「検索開始」ボタンを押します。
3. 該当の商談情報の「商談日/時間」を選択し、商談画面の詳細画面を表示させます。
4. 「編集」ボタンを押して内容を修正し、最後に「保存」ボタンを押して内容を保存します。  
※上記編集方法は、一例です。
5. 次に、修正を行った商談情報の再取込みを行います。  
※修正した内容によっては、更新不可となります。次表の取込み条件をご参照ください。
6. 可視化日報メニュー下側の「顧客深耕日報取込み」を選択します。
7. 「顧客深耕日報取込」でおこなった手順で、修正した商談情報の条件を絞り込み後、商談情報を取込みます。

### 【再取込みの際の条件】

取込んだ商談情報がプロジェクトの業務として変換した場合に、次のような条件が発生します。

※この条件は、顧客創造日報(Type-Rを含む)、顧客深耕日報案件創造統合(Type-Rを含む)を導入している場合のみの条件です。

再取込前の【商談情報】と【プロジェクト情報】の紐付け	変更内容		更新可否	備考
プロジェクトAとして変換済	プロジェクトA⇒実施中	⇒	可能	
プロジェクトAとして変換済	プロジェクトA⇒完了/中止	⇒	不可	
プロジェクトAとして変換済	プロジェクトA⇒選択なし	⇒	可能	プロジェクトAで作成されたアクション情報は削除され、通常の業務情報を作成
なし	選択なし⇒プロジェクトA	⇒	可能	プロジェクトAのタスクなしアクション情報を作成
なし	プロジェクトA⇒完了/中止	⇒	不可	
なし	選択なし⇒選択なし	⇒	可能	
プロジェクトAとして変換済	プロジェクトA⇒B(実施中)	⇒	可能	プロジェクトAで作成されたアクション情報は削除され、Bのアクション情報を作成
プロジェクトA(完了)として変換済	プロジェクトA⇒B(実施中)	⇒	不可	
プロジェクトAとして変換済	プロジェクトA⇒B(完了/中止)	⇒	不可	



## 6. 顧客の声について

※顧客の声オプションを導入している場合のみの機能となります。

(ASP版の場合は、顧客の声ライセンス込みでご利用いただいております。)

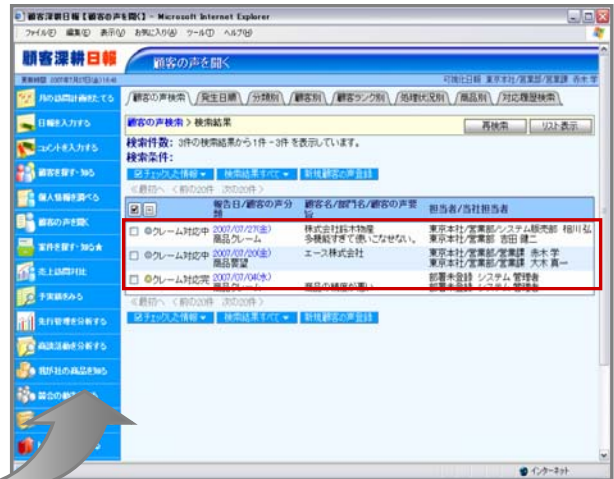
SFA連携時、顧客の声データはSFAデータと共有されます。したがって、SFAで登録した顧客の声の対応履歴を可視化日報から登録することができます。

可視化日報・顧客の声とSFA・顧客の声それぞれで登録されたデータは共有しています。

【可視化日報単体利用時の顧客の声検索結果】



【SFA利用時の顧客の声検索結果】



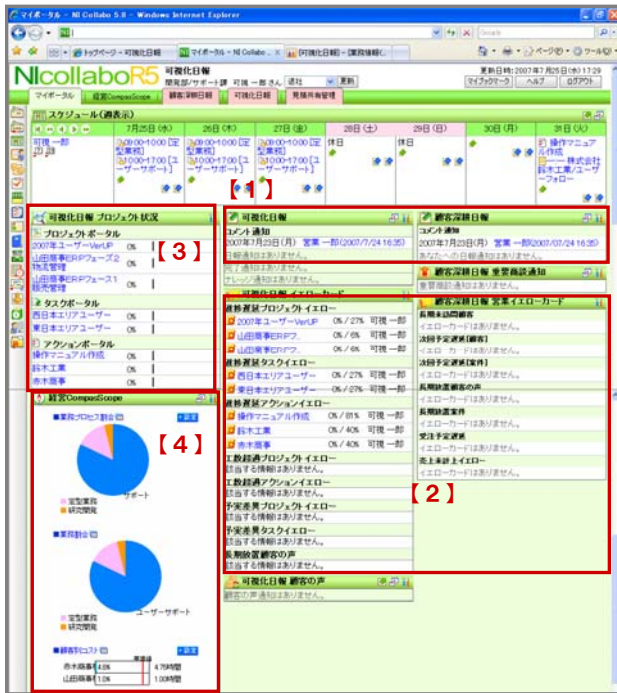
## NIコラボとの連携

### ポータルパーツの追加

※NIコラボを導入している場合のみの機能となります。

可視化日報を導入した場合、以下のポータルパーツが追加されます。

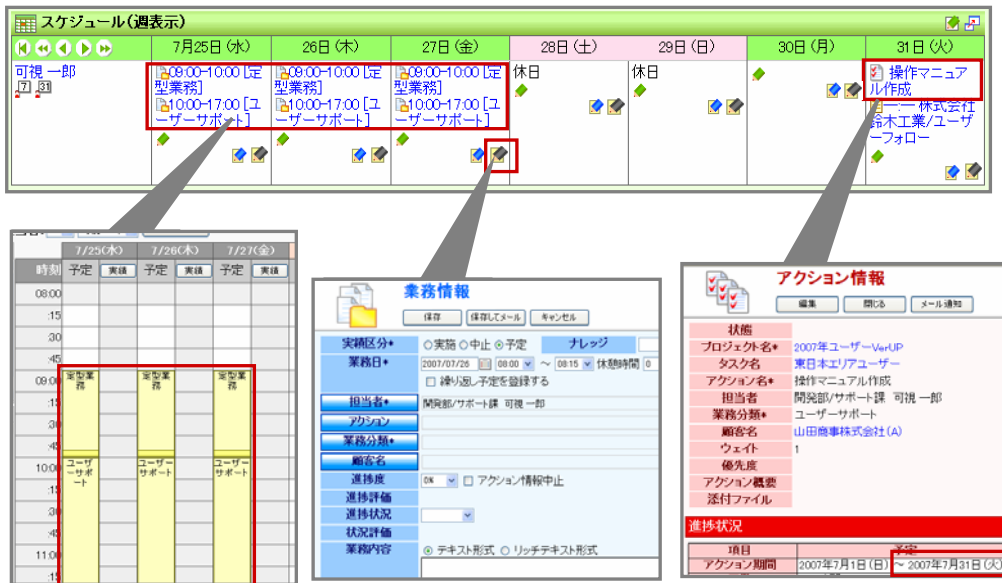
ポータルパーツの設定方法の詳細は、NIコラボ基本操作マニュアル●●をご参照ください。



図番	ポータルパーツ	詳細	内容
[1]	通知情報	日報通知(SFA・可視化日報混在) コメント通知(SFA・可視化日報混在) 完了通知 ナレッジ通知 顧客の声通知 (※顧客の声オプションを導入している場合のみ)	「日報通知」「コメント通知」は、同通知情報が可視化日報ポータルパーツ、SFA パーツのどちらでも通知表示されます。
[2]	エラーカード	進捗遅延エラー 工数超過エラー 予実差異エラー	表示設定は、「可視化日報エラーカード」、「SFA エラーカード」それぞれ設定が可能です。
[3]	可視化日報 プロジェクト状況	プロジェクトポータル タスクポータル アクションポータル	表示させるポータルを選択することができます。
[4]	経営 CompasScope	可視化日報専用テンプレート (※経営 CompasScope オプションを導入している場合のみ)	表示させるポータルを選択することができます。

## スケジュール連携

NI コラボのスケジュールに、可視化日報の業務情報(予定・実績)とアクション情報の表示が可能になります。



### <表示設定>

1. NI コラボポータル画面右下の「オプション設定」を選択します。
2. 画面左の「設定メニュー」より、「スケジュール」-「連携設定」を選択します。
3. 「可視化日報」ボタンを押します。  
⇒スケジュール>連携 設定画面が表示されます。
4. スケジュールの表示設定を行います。  
下表をご参考の上、必要に応じて設定を行います。
5. 最後に「保存する」ボタンを押して設定を保存します。

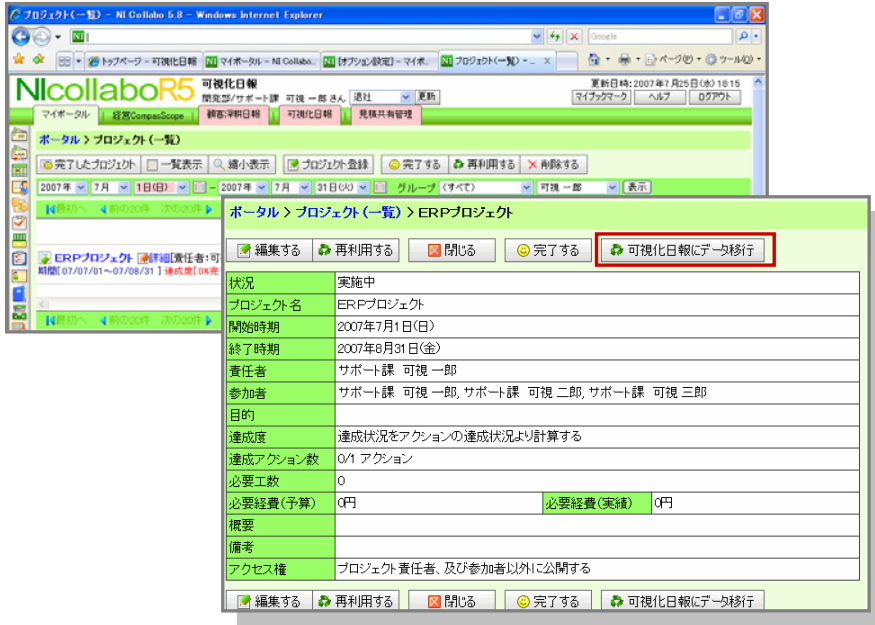
項目名称	設定内容・制限
表示設定	過去の業務情報を「表示する」「表示しない」のいずれかを選択します。 【初期値】:表示しない
業務情報表示設定	上記「表示設定」にて「表示する」を選択した場合、その表示する業務情報の中で表示しない <b>業務分類</b> を選択します。
業務情報登録表示設定	NI コラボのスケジュール上に業務情報登録アイコン「」を表示するかの選択をします。 表示するとアイコンを押すだけでNI コラボから業務情報を登録することができます。 【初期値】:表示しない
アクション情報表示設定	可視化日報で作成したアクション情報を「表示する」「表示しない」のいずれかを選択します。 アクション予定期間の期限日にアクション情報をスケジュール表示します。
期限の過ぎたアクション情報	上記「アクション情報表示設定」にて「表示する」を選択した場合、期限日を過ぎても完了していない過去のアクション情報を今日のスケジュールに表示させるかどうかを選択します。 ※上記「アクション情報表示設定」にて「表示しない」を選択した場合、この項目は選択不可となります。 【初期値】:表示しない

## NIコラボプロジェクトデータ移行機能

NI コラボで作成したプロジェクト管理のデータを可視化日報プロジェクトデータとして移行することができます。  
移行する情報は、プロジェクト情報はもちろん、従属するタスク、アクション全てを一括で移行します。



●この機能をご利用になるためには、「NIコラボプロジェクト情報取込み権限」が必要です。自社のシステム管理者へご確認ください。



### <データ移行手順>

1. NI コラボメニューより「プロジェクト管理」を選択します。  
⇒プロジェクト(一覧)が表示されます。
2. 一覧よりデータ移行するプロジェクト名横の「詳細」を押してプロジェクト詳細画面を表示させます。
3. 「可視化日報データ移行」ボタンを押します。  
⇒「NI コラボ プロジェクト情報データ取込み」画面が表示されます。



#### ●取り込まれるプロジェクトについて

取込みはプロジェクト単位で取込みを行います。データ移行に際しては、プロジェクト情報はもちろん、従属するタスク、アクション全てを一括で移行します。  
また、添付されているファイルも同様に移行することができます。

#### ●取込時の注意点

- ・データ移行時には他の操作を行わないでください。
- ・添付ファイルを含めてデータ移行を行う場合、サーバーに負荷がかかるため一時的にレスポンスが悪化する恐れがあります。
- ・添付ファイルを含めてデータ移行を行う場合、ディスク容量を圧迫しますので、サーバーのディスクの残り容量にご注意ください。

4. プロジェクトの情報のみを取込む場合は、「情報のみ取込む」ボタンを押します。  
添付ファイルも一緒に取込む場合は、「添付ファイルを含めて取込む」ボタンを押します。
5. 「データ移行を開始します。データ移行に●●」←●確認中 と表示されますので、「はい。実行します」にチェックを入れ、「実行」ボタンを押します。
6. 「プロジェクト情報データの処理が完了しました。  
タスク情報：●件データ移行しました。  
アクション情報：●件データ移行しました。」と表示されますので、「OK」ボタンを押します。



一度取込まれたプロジェクトの再取込を行うと、別のプロジェクトとして作成され、データは更新されません。

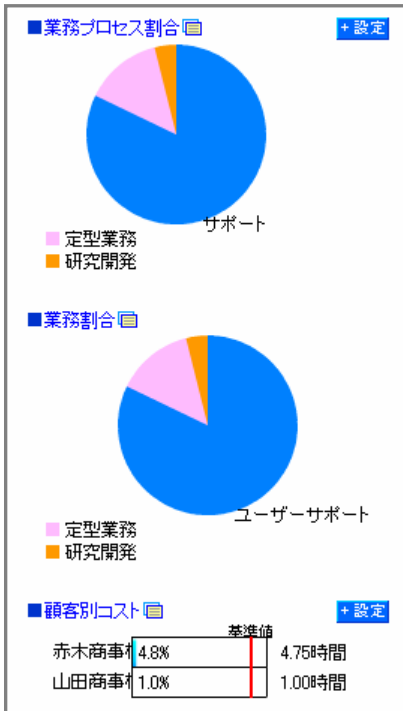
## 経営CompasScopeとの連携

### テンプレートの追加

※経営 CompasScope を導入している場合のみの機能となります。  
可視化日報をデータ元とする以下のテンプレートが追加になります。



レイアウト設定は、システム設定にて行います。自社のシステム管理者へご確認ください。



アクティビティ分析系 (工数又はコストを集計)		
業務プロセス割合	円グラフ	全業務プロセスのうち、各プロセスのバランスを分析できます。
業務割合	円グラフ	全業務のうち、各業務のバランスを分析できます。
付加価値割合	円グラフ	全業務のうち、付加価値業務のバランスを分析できます。
顧客別コスト	棒グラフ	指定した顧客のコストをグラフで表示します。
プロジェクト分析系		
プロジェクト分析	棒グラフ	指定したプロジェクトの進捗状況をグラフで表示します。

## システム設定

可視化日報とSFA(営業支援システム)及びNI コラボ、経営 CompasScope 製品をご導入の場合のシステム設定での影響と、連携時に追加される設定についてご説明いたします。

## 顧客情報データベースの共有

システム設定にて、顧客プロフィールのCSVデータ読み込み、及び各種マスタ設定を選択すると、**各 SFA のシステム設定画面へ移動します。**(設定箇所はSFA側に統一されます。)



その他、SFA 側の設定画面に移動するメニューは以下の通りです。

**【SFA 設定タブへ移動するメニュー一覧】**

メニュー名	サブメニュー名
CSV設定	顧客プロフィールCSVデータ読み込み
顧客プロフィール	顧客ランク
	企業業種
	引合要因
	顧客地域
	ルート
	回収ランク
	決済方法
	重複チェック

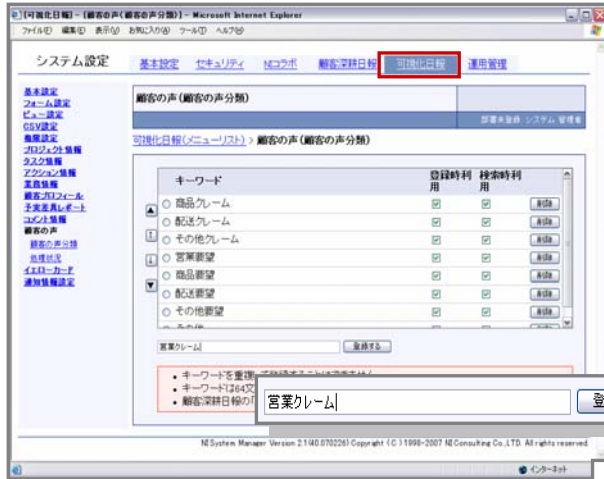


## 顧客の声データベースの共有

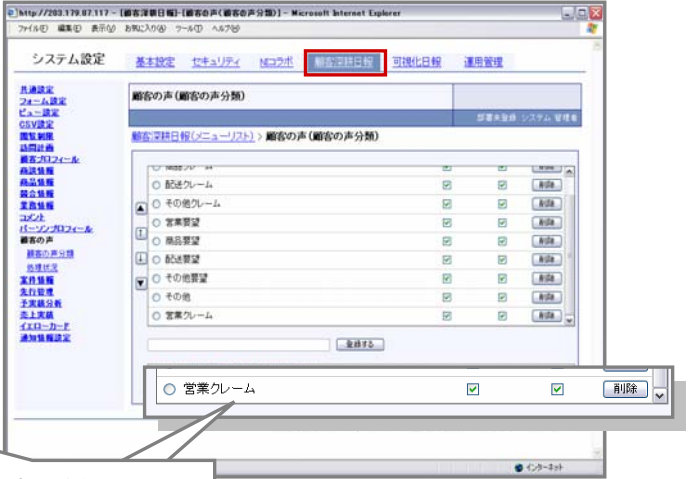
システム設定の顧客の声に関する設定も共有されます。設定箇所は**可視化日報側、SFA側のそれぞれメニュー**があります。  
(顧客情報のような画面移動はありません。)

⇒どちらで設定されてもデータは共有されますので、どちらからでも設定することが可能です。

システム設定【可視化日報】



システム設定【顧客深耕日報】



可視化日報で登録した  
キーワードもSFAへ反映

その他、SFAとデータが共有されるの設定メニューは以下の通りです。

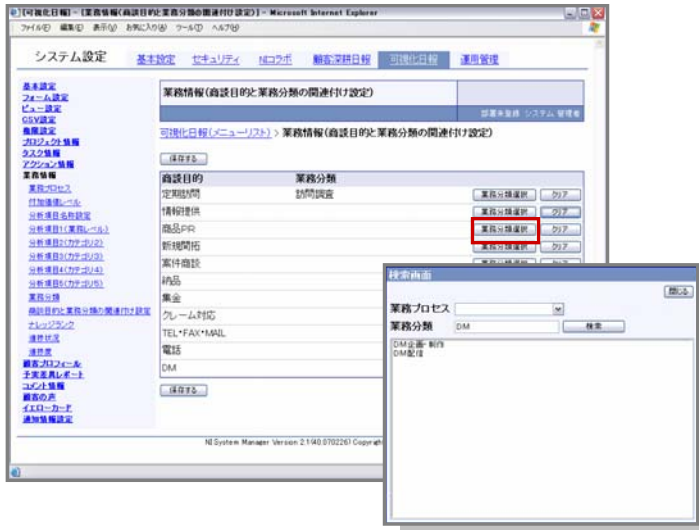
【SFA側設定タブと同設定箇所があり、データが共有される『顧客の声』関連メニュー一覧】

メニュー名	サブメニュー名
権限設定	顧客の声閲覧制限
顧客の声	顧客の声分類
	処理状況
通知情報設定	顧客の声通知設定

## 商談目的と業務分類の関連付け設定

商談情報を可視化日報に取込む場合、商談目的別に業務情報を作成いたします。

ここでは、取込時に必要になる商談目的と業務分類の関連付け設定をご説明します。以下の手順で設定を行ってください。

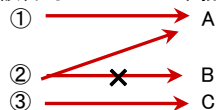


1. システム設定の「可視化日報(メニューリスト)」より業務情報の「商談目的と業務情報の関連付け設定」を選択します。  
⇒「業務情報(業務情報と業務分析の関連付け設定)」画面が表示されます。
2. 各商談目的に関連付ける業務分類をセットします。
3. 「業務分類選択」ボタンを押し、検索画面を表示させます。
4. 「業務分類」プルダウンまたは、「業務分類」に業務分類名を入力し、「検索」ボタンを押します。  
※「業務分類」: 単一指定により入力値を含む業務分類が検索条件になります。
5. 表示された結果から、関連付ける業務分類を選択します。
6. 「(業務分類名)に関連付けてもよろしいですか?」とメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押します。  
⇒業務分類(商談目的と業務分類の関連付け設定)の画面に戻り、設定が反映されていることが確認します。

●業務分類の関連付けは、ひとつの商談目的に対し、一つの業務分類のみ関連づけることができます。

なお、業務分類は、重複して登録することができます。

例) 商談目的 業務分類



●関連付ける業務分類がない場合、新規で業務分類を作成してください。



## 商談工数データ取込権限設定

商談情報の取り込みに対し、取り込める権限のある社員を制限することができます。設定された社員のみトップページ画面に「商談工数取込」ボタンが表示されます。以下の手順で設定を行ってください。



1. システム設定の「可視化日報(メニューリスト)」より権限設定の「商談工数取込権限設定」を選択します。  
⇒「権限設定(商談工数取込権限設定)」画面が表示されます。
2. プロジェクト情報の単価登録が可能な社員の部署をプルダウンより選択し、表示された所属社員の中で、対象の社員を選択し反転させたら「追加」ボタンをクリックします。  
※登録可能な社員が複数いる場合は、上記の設定を繰り返します。  
※登録する社員は、可視化日報の利用権限がない場合、設定は無効となります。
3. 最後に、「保存する」ボタンをクリックして設定を保存してください。  
⇒設定が保存されました。「OK」ボタンを押してください。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。  
※選択した社員をリストから削除したい場合は、社員を選択し反転させた後、「削除」ボタンをクリックしてください。

## NIコラボ プロジェクト情報取込権限設定

**※この設定は、NIコラボを導入の場合の設定です。**

NIコラボ「プロジェクト管理」機能からプロジェクトデータを取込める社員について設定を行います。

この設定により、可能な社員のみ「可視化日報にデータ移行」ボタンが表示されます。

なお、NIコラボ「プロジェクト管理」機能をご利用ではない場合は、設定の必要はありません。

1. システム設定の「可視化日報(メニューリスト)」より権限設定の「NIコラボプロジェクト情報取込権限設定」を選択します。  
⇒「権限設定(NIコラボプロジェクト情報取込権限設定)」画面が表示されます。
2. プロジェクトデータを取込むことのできる社員をプルダウンより選択し、表示された所属社員の中で、対象の社員を選択し反転させたら「追加」ボタンをクリックします。  
※登録可能な社員が複数いる場合は、上記の設定を繰り返します。  
※登録する社員は、可視化日報の利用権限がない場合、設定は無効となります。
3. 最後に、「保存する」ボタンをクリックして設定を保存してください。  
⇒設定が保存されました。「OK」ボタンを押してください。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。  
※選択した社員を削除したい場合は、社員を選択し反転させた後、「削除」ボタンをクリックしてください。

**補足**

**取得ライセンスによる画面の見え方の違い**

SFAと可視化を導入した場合、各ユーザーの取得ライセンスにより表示される画面の見え方や表示できる画面が変わります。下表はそれらをまとめたものです。

○△  
可視化

可視化日報のフォームで開くことができます。

●▲  
SFA

SFAのフォームで開くことができます。

[○ ●:全て可] [△ ▲:一部可] [×:不可]

インストール製品		可視化のみ	可視化・SFAともにインストール済			備考
機能		可視化のみ	可視化のみ	可視化 + SFA	SFAのみ	
顧客	顧客情報 検索・一覧	○ 可視化	○ 可視化	● SFA	● SFA	
	顧客情報 登録画面 (新規・編集・削除・参照)	○ 可視化	○ 可視化	● SFA	● SFA	
	顧客情報 タブメニュー (●●別ビュー)	×	×	● SFA	● SFA	
	パーソン情報管理	×	×	● SFA	● SFA	
パーソン	パーソン情報 検索・一覧	×	×	● SFA	● SFA	
	パーソン情報 登録画面 (新規・編集・削除・参照)	×	● SFA	● SFA	● SFA	可視化のみユーザーは、商談情報「面談者」項目から利用可
	パーソン情報 タブメニュー (●●別ビュー)	×	×	● SFA	● SFA	
日報	日報 登録画面 (新規・編集・削除・参照・コメント)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	● SFA	参照・登録した日報画面が表示されコメントもできる
	可視化業務情報 (新規・編集・削除・参照・コメント)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	△参照・コメントのみ	
	SFA 商談情報 (新規・編集・削除・参照・コメント)	×	▲参照・コメントのみ	● SFA	● SFA	
	SFA 商談外業務情報 (新規・編集・削除・参照・コメント)	×	▲参照・コメントのみ SFA	● SFA	● SFA	
	SFA 商品・競合・売上実績情報 (新規・編集・削除・参照・コメント)	×	▲参照・コメントのみ	● SFA	● SFA	
	顧客の声 (新規・編集・削除・参照・コメント)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	
SFA 案件	案件情報 検索・一覧	×	×	● SFA	● SFA	案件情報からプロジェクト参照と関連付け可能
	案件情報 登録画面 (新規・編集・削除・参照)	×	▲参照・コメントのみ	● SFA	● SFA	プロジェクト情報から案件参照と関連付け可能
プロジェクト情報	プロジェクト情報 (新規・編集・削除・参照)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	△参照のみ ※可視化	※案件・顧客から一覧のみ
可視化業務情報	可視化業務情報 検索・一覧 (タブメニュー ●●別ビュー)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	×	
	可視化業務情報 登録画面 (新規・編集・削除・参照)	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	△参照・コメントのみ	
SFA 商談情報	商談情報 検索・一覧 (タブメニュー ●●別ビュー)	×	×	● SFA	● SFA	
	商談情報 登録画面 (新規・編集・削除・参照)	×	▲参照・コメントのみ	● SFA	● SFA	
商品・競合・売上実績情報	商談情報 検索・一覧 (タブメニュー ●●別ビュー)	×	×	● SFA	● SFA	
	商品・競合・売上実績情報 (新規・編集・削除・参照・コメント)	×	▲参照・コメントのみ	● SFA	● SFA	
顧客の声	顧客の声 全般	○ 可視化	○ 可視化	○ 可視化	● SFA	